

③ごみ減量施策の進捗状況について（報告）

1. 平成 24 年度以降のごみ排出量の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度 (9 月末時点前年比)
人 口	83,024 人	82,387 人	81,820 人	81,108 人
家庭ごみ	23,667 t	23,624 t	23,372 t	▲3.8%
燃えるごみ	16,619 t	16,512 t	16,316 t	▲4.8%
燃えないごみ	753 t	770 t	733 t	4.1%
大型ごみ	1,444 t	1,770 t	1,712 t	2.2%
有害ごみ	0	57	54	—
資源ごみ	1,084 t	969 t	900 t	—
集団回収	3,767 t	3,546 t	3,657 t	—
事業ごみ	7,199 t	6,748 t	6,919 t	▲3.6%
総排出量	30,866 t	30,372 t	30,291 t	—

2. 平成 27 年度 事業実施状況

① 雑紙（ざつがみ）回収モデル事業の実施（新規）

中津西・福岡地区の 2 地区で平成 27 年 7 月～平成 28 年 1 月の期間実施
各集会所軒先等に家庭から排出される雑紙の回収箱を設置し、定期的に回収し、資源化を行う。事業の効果や効率性、問題点等を検証し、全市域で実施できるシステムを構築する。

【回収実績】 7 月：620 kg 8 月：1,140kg 9 月：980 kg 平均：910kg
(中間推計) 同手法で全市展開した場合 年間 51 t のごみ削減効果

② 衣類布類回収事業（新規）

市役所のほか、地域事務所、総合事務所等に 7 月、11 月、3 月に回収箱を設置
出された衣服等は選別され有用なものは、アジア等で再使用される。

【回収実績】 7 月：9 t (うち再使用されたもの：7 t)
(中間推計) 年間 24 t のごみ削減効果

③ 刈草・剪定枝の堆肥化事業（新規）

年 2 回（6 月、9 月）実施する市内一斉清掃で環境センターに持ち込まれる刈草・剪定枝を民間事業者へ委託し肥料化を行う。今年度はモデル事業として費用は発生しない。

事業の効果と必要費用から、来年度に向けて実施方法を検討します。

たい肥化した肥料は市民に無料配布します。

【回収実績】 6月：16 t 9月：14 t 計 30 t

④ リサイクルボックスの増設整備（継続）

リサイクルボックスの整備が必要と考えられる2地域に整備を図り、地域のリサイクル活動への意識啓発を図ります。今年度茄子川地区と蛭川地区に設置を予定し、現在地域内で設置地点の協議が進んでいます。

⑤ 資源回収奨励金制度の維持（継続）

保護者会やPTA、地域、団体等による資源回収やリサイクルボックス回収の実績に応じて（1 kgあたり5円）の奨励金を交付し、地域内のリサイクル意識の向上と奨励金は団体や地域の活性化資金の一部として役立てていただいています。

【回収実績】 上半期（4月～9月）：172件 1,936 t

⑥ 周知啓発の取組み（継続）

- ・ 広報なかつがわ、回覧文書による啓発活動
 - 7月：中津川市のごみの現状 ごみを減らすポイント 衣類回収事業
： 雑紙回収について（中津西・福岡地区）
 - 10月：雑紙回収について（中津西・福岡地区）
 - 11月：衣類回収事業 ごみを減らすポイント（水切り徹底）
- ・ 「住みよい環境づくり推進員」ブロック会議開催 中津川市の課題として啓発
- ・ 出前講座の開催 計5回
- ・ 市民団体の開催する「フリーマーケット」事業への協力
- ・ 「環境フェスタ中津川」でのごみ問題に関する啓発展示

3. 今後の取組み予定

平成27年11月	衣類・布類回収事業
～平成28年1月	雑紙回収モデル事業終了 検証作業及び今後の展開の検討 リサイクルボックス設置（茄子川・蛭川）
平成28年2月	第1回ごみ減量検討市民会議開催 議題 ・平成27年度の取組みの検証 ・今後の施策展開 ・ごみ処理手数料に導入について 他
平成28年3月	衣類・布類回収事業

